

分科会番号 8

分科会名称

「ちょっといいコト。
新居浜まるごと人事部(仮称)プロジェクト」

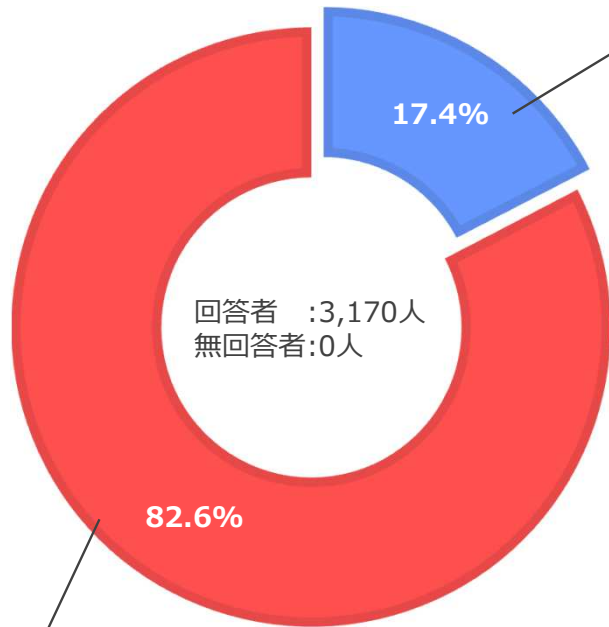
2024年6月24日
有限会社永井商會

チカラになりたい。× チカラをかりたい。

2021年 ボランティア活動をした人

ボランティア活動経験の有無

[2021年の1年間での活動経験]



■ ボランティア活動をしたことがない … 2,618人

■ ボランティア活動をしたことがある … 552人

男性 : 19% / 女性 : 16%
独身 : 14% / 既婚 : 18%
公務員 : 27% / 自営業 : 26% / 会社員 : 13%

活動への参加の目的(理由)

社会の役に立ちたいから : 59%
自己啓発・成長につながるから : 34%
職場の取組みの一環として : 11%

活動に参加できない理由

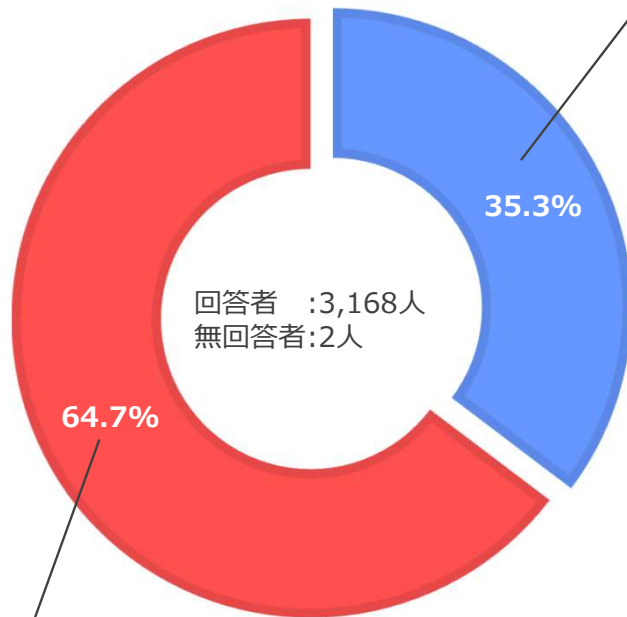
参加する**時間**がない : 45%
ボランティア活動に関する**情報**がない : 41%

※内閣府「令和4年度 市民の社会貢献に関する実態報告書」より抜粋(複数回答)

2021年 寄付活動をした人

寄付活動経験の有無

[2021年の1年間での寄付の経緯]



■ 寄付活動をしたことがない … 2,051人

■ 寄付活動をしたことがある … 1,117人

活動への参加の目的(理由)

社会の役に立ちたいから : 53%
町内会・自治会の一環として : 32%
所得税が軽減されるから : 16%

寄付した機関

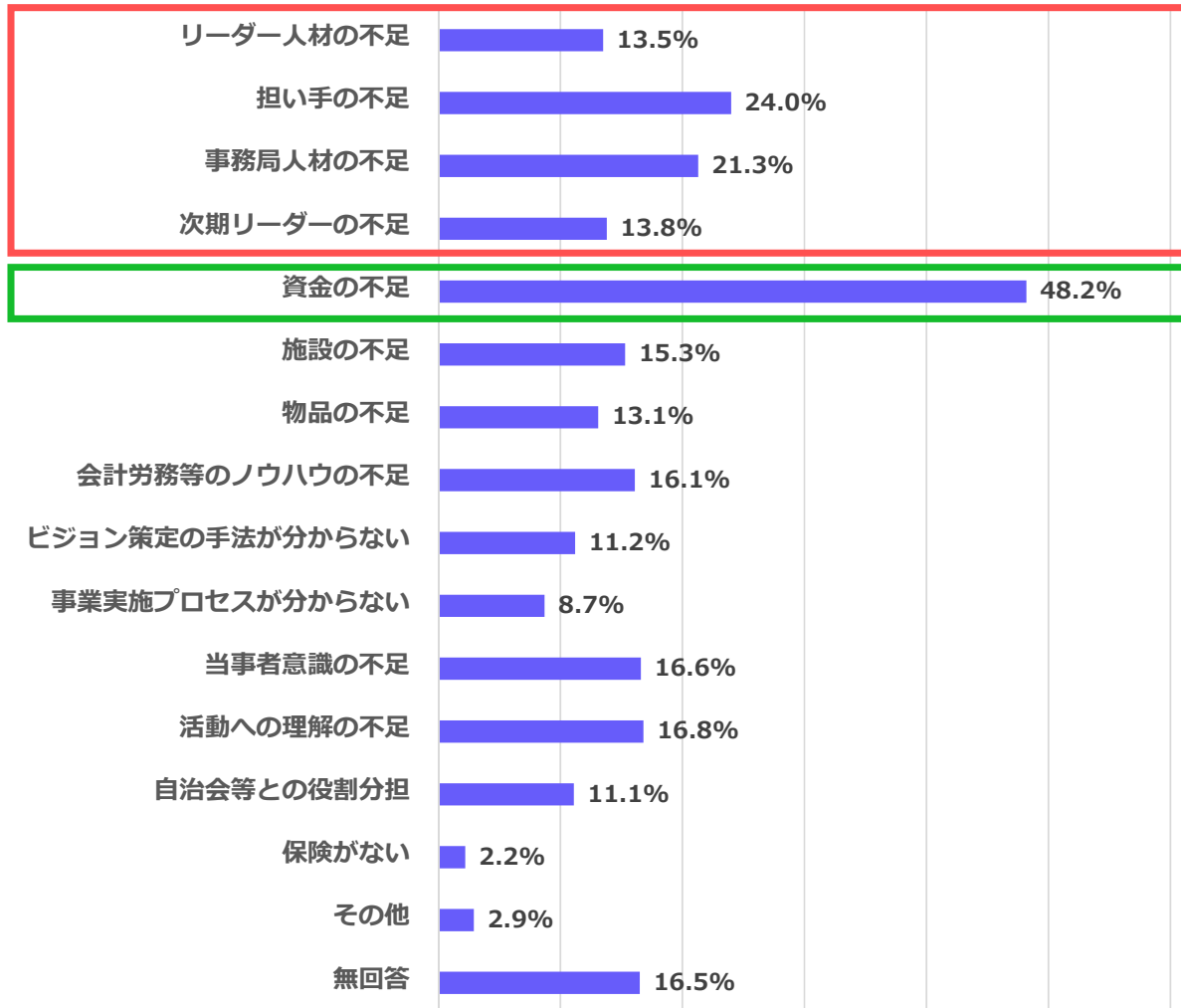
保険・医療・福祉分野 : 32% / 災害救助支援 : 24%
子ども・青少年育成 : 22% / まちづくり : 20%
国際協力・交流 : 12% / 自然・環境保全 : 10%

寄付の方法

募金箱 : 22% / 振込・口座引落 : 22%
クレカ・電子マネー : 22%
給与天引き : 1.3%

※内閣府「令和4年度 市民の社会貢献に関する実態報告書」より抜粋(複数回答)

地域運営に関する課題



■ 人材不足(トータル) : 71.5%

■ 資金不足 : 48.2%

地域運営の課題 1 位は、**人材不足**

総務省の調査によると地域運営の課題は地域に貢献する**人材不足**だということがわかります。

実証実験 [垣生海岸清掃]

地域のお困り事

垣生海岸の遊歩道にススキが生い茂っている。

▶ 人が集まらず、手つかずの状態になっている。

人材不足 ▶ **チカラをかりたい。**



チカラになりたい。 ▶ **情報提供**

『チカラになれること。』を見える化すること
(情報提供)で、多くの人が賛同し参加。



2023年9月3日 撮影

解決したい課題 [1/2]

新居浜市には“まちづくり”の
『**中間支援組織**』がない。

地域の課題解決に取り組むには
団体と企業の**マッチング**が
少ないため、広げる必要がある。

地域活動を推進する
『**担い手**』が不足している。

「**チカラになりたい。**」方へ
点でなく面としてアプローチ
する手段がない。

※**中間支援組織とは…**

行政と地域の間に入って社会の変化やニーズを把握し、地域における様々な団体の活動や団体間の連携を支援する組織。

解決したい課題 [2/2]

※新居浜市SDGs推進プラットフォーム資料より抜粋



新居浜市における3分野の地域課題について



私たちは「民間主導の行政補完型モデル」に向けて取り組みます!!



新居浜市の実態

新居浜市への
愛着度は？

自己満足の**発信**
になっていないか？

新居浜市

参加ニーズとの
ズレはないか？

価値観の押し付け
になっていないか？

今回のご提案

新居浜市の実態を知る

新居浜つなげる人事部(仮称)プロジェクト



新居浜市の実態を知ることから始める…

新居浜市全体を“会社に見立てる”

- ▶ 従業員(市民)のそれぞれの強み「チカラ(知見・ノウハウ)」を集めて、地域の課題を解決する仕組みを構築する。

『チカラになれること。』の見える化

活動内容

新居浜つなげる人事部 アンケート調査

市民の寄付やボランティア活動の**実態**(意識)把握を明らかにし、**共助社会**づくり及び社会貢献に関する施策立案のための**基礎資料**を得るためのアンケートを実施します。

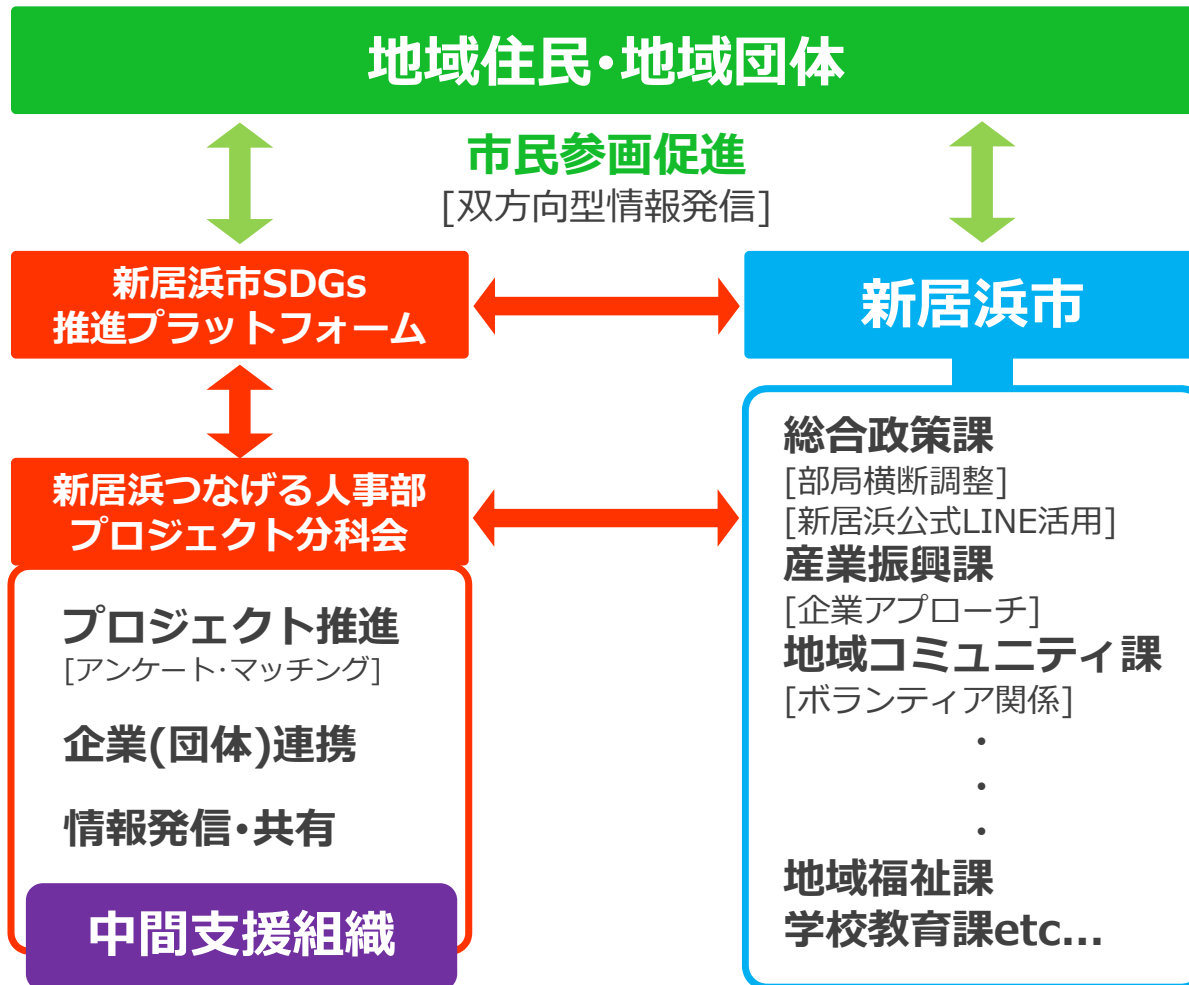
新居浜つなげる人事部 マッチング(つながるポイント)

上記アンケート調査をもとにした**中間支援組織**を組成。
新居浜市SDGs推進プラットフォーム専用の**アプリ**を弊社から提供し、
分科会メンバーの知見やノウハウを結集して**カスタマイズ**を実施。

『**チカラになりたい。**』と『**チカラをかりたい。**』を**マッチング**

※新居浜市ボランティア・市民活動センター、新居浜市地域コミュニティ課との連携模索。

プロジェクト推進体制(案)



- アンケート調査(実態把握)を通じた『**市民参画**』の促進。
 - 地域の課題解決に取り組む『**団体と企業のマッチング**』を増。
 - 地域活動を推進する『**担い手**』を増。
 - 「**チカラになりたい。**」方への『**面的アプローチ**』を増。
 - 魅力的な企業を『**第三者的に広報**』
- 企業ブランディング・採用活動の1つに！

実施スケジュール(案)

2024年7月～9月



分科会参加企業募集・アンケート調査内容決定・開始

2024年10月～12月



アンケート結果集計(共有)・中間支援組織組成・アプリカスタマイズ

2025年1月～3月



プロジェクト説明会実施(随時)・マッチングアプリ稼働

2025年4月～6月



稼働状況共有(課題抽出)・アワード開催準備・まとめ

期待される効果

アンケート調査による実態把握

- アンケート調査(ボランティア活動や寄付)による実態(意識)把握は、地域づくりや社会貢献の**関係人口を増やすための課題**が明確となり、本プラットフォーム会員および行政と共有する事により、**公民連携**に向けての礎となる。

アプリ活用による活動の促進

- 参加に応じてアプリ上に貯まる「新居浜市SDGs つながりポイント」の**データを活用**して、多く利用した人や場所を対象にSDGsの推進や地域コミュニティの活性化に貢献したことを称えるアワードを開催するなど、**『チカラになりたい。』**と思っている、ボランティアに**興味を持つ層の目線**に立ち、行動に移したいと思っている**活動層への変容**を促すことが期待できる。

チカラになりたい。× チカラをかりたい。

新居浜つなげる人事部(仮称)プロジェクト

多くの会員・関係者の皆様に参加いただけると幸いです。
また、行政(新居浜市・愛媛県)・各種団体など関係者各位の
ご協力をお願いいたします。

多くの方の参加をお待ちしています。